

系統豚利用の案内

～高品質な「かごしま黒豚」の生産を目指して～

系統豚とは、遺伝的に能力の高い豚を7世代にわたり選抜して造り上げた能力が優れ、斉一性が高い集団のことです。

「かごしま黒豚」を支える系統豚



第2系統豚「ニューサツマ」
平成3年認定

- 基礎豚: 鹿児島, イギリス
- 肉質・産肉性の改良



第4系統豚「クロサツマ2015」
平成27年11月認定

- 基礎豚: 鹿児島
- 体型: 在来種の外貌特徴を有する「鼻のしゃくれ」, 「なすび型」
- 背脂肪の厚さは薄く, ロース断面積は大きく, また, 離乳時子豚総体重が増加するよう改良されています。



第3系統豚「サツマ2001」
平成13年認定

- 基礎豚: 鹿児島
- 産肉能力と赤肉割合の改良

第4系統豚の主要改良形質の表型価

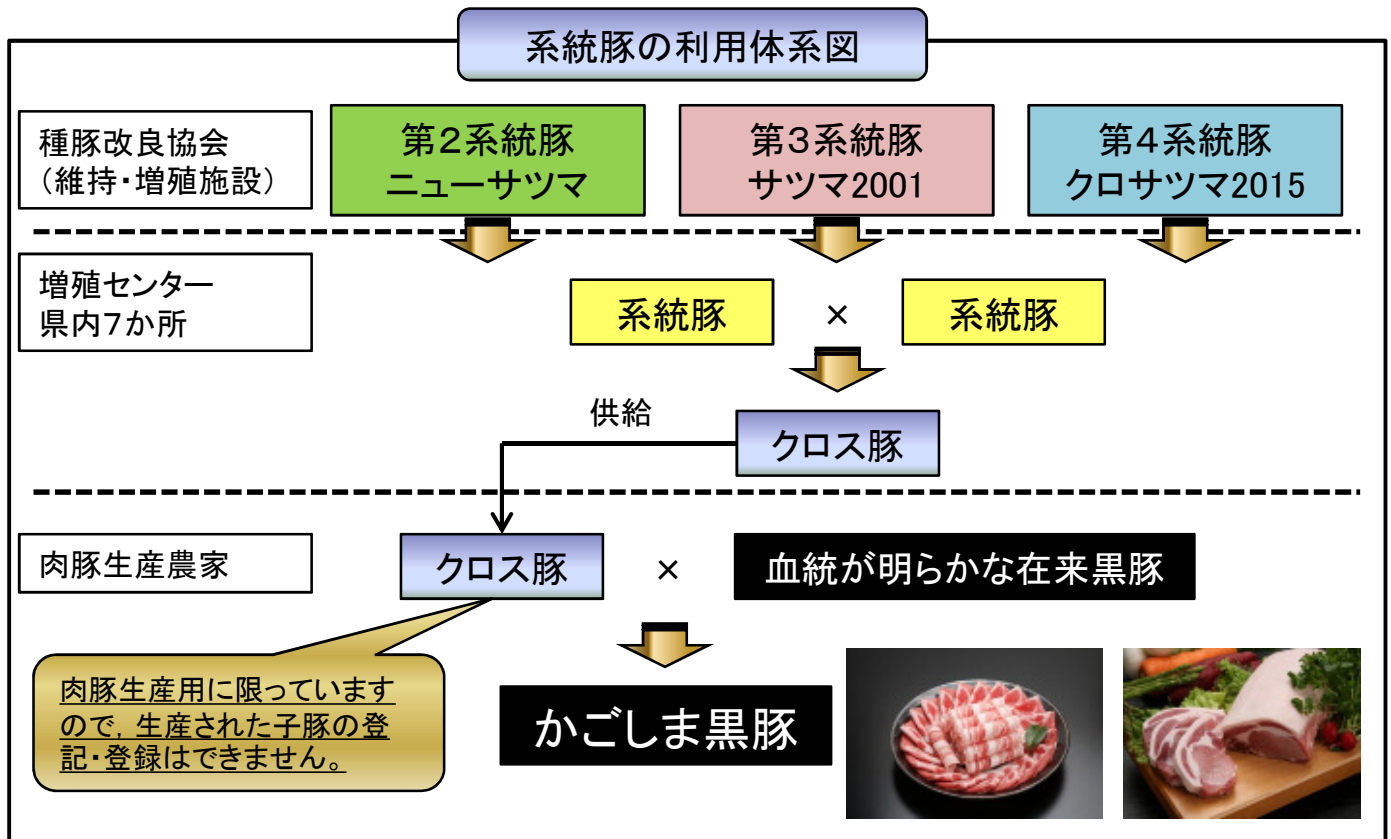
| 改良形質 | 改良前 | 改良後 |
|----------|---------------------|------------------------|
| 背脂肪の厚さ | 1.86cm | 1.7cm以下 |
| ロース断面積 | 24.4cm ² | 27.7cm ² 以上 |
| 離乳時子豚総体重 | 46.8kg | 60kg以上 |

※ 一般種豚増殖施設(増殖センター)を通じた第4系統豚のクロス豚については, 平成29年9月頃から供給される見込みです。

系統豚は, 異なる系統との組み合わせで作出したクロス豚を種豚として利用することで, 繁殖能力の向上や斉一性の高い肉豚生産など, 生産性の向上が期待できます。

平成28年12月
鹿児島県系統豚利用推進協議会
鹿児島県系統豚維持利用連絡会

**系統豚(クロス豚)と血統が明らかな在来黒豚を利用し、
高品質でバラツキのない「かごしま黒豚」の生産に努めましょう！**



【系統豚・クロス豚の利用上の注意事項～必ずお読みください～】

- 系統豚(クロス豚を含む)は、鹿児島県が10年の年月をかけて造成・完成した「県民の宝(財産)」です。県外への譲渡(保存精液も含む)はできません。
- 系統豚・クロス豚は、生産性の低下を招くことのないよう、原則として3年6産で更新しましょう。
- クロス豚は、自らの農場での肉豚生産用に限っていますので、生産された子豚の登記・登録はできません。生産された子豚は全て肉豚として出荷してください。
- クロス豚の利用に当たっては、適正な交配がなされるよう血縁関係に留意してください。

このパンフレットに関するお問い合わせ先

| 問い合わせ内容 | 連絡先 | 住所・電話・FAX |
|-------------------------|--------------------------------------|---|
| 系統豚・クロス豚の譲渡や増殖センターに関する事 | 一般社団法人鹿児島県種豚改良協会 (県系統豚維持利用連絡会事務局) | 〒899-4461 霧島市国分上之段椎木迫2495 TEL 0995-48-2715, FAX 0995-48-2013 |
| 黒豚の育種・改良や飼養管理などに関する事 | 鹿児島県農業開発総合センター 畜産試験場 中小家畜部 養豚研究室 | 〒899-4461 霧島市国分上之段2440 TEL 0995-48-2121, FAX 0995-48-2480 |
| 黒豚の登記・登録や種豚に関する事 | 公益社団法人鹿児島県畜産協会 (県指定種豚場連絡協議会事務局) | 〒890-0064 鹿児島市鴨池新町15 TEL 099-258-5647, FAX 099-255-9483 |
| 黒豚全般に関する事 | 鹿児島県農政部畜産課中小家畜係 (県系統豚利用推進協議会事務局) | 〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1 TEL 099-286-3224, FAX 099-286-5599 |